

令和元年度富里市地域公共交通会議会議録

日 時	令和 2 年 2 月 6 日（木） 午後 2 時 0 0 分～午後 2 時 4 5 分	場 所	富里市役所本庁舎 3 階第 3 会議室
出席委員	石橋規委員、森秀樹委員、寺井繁樹委員、岡野肇委員、鵜澤尚夫委員、篠崎秀樹委員、伊藤賢委員、長谷川英利委員、三須徹也委員、相馬きよ子委員、中野善敦委員		
欠席委員	飯塚孝廣委員、坂口篤委員		
事 務 局	総務部企画課：相川課長、土屋副主幹、椎名主事		
内 容	1. 開会 2. 会長及び副会長の選出 富里市地域公共交通会議設置条例第 5 条による互選により選出。 委員より事務局に一任する旨発言あり。 他の委員から異議なしの声あり。 これまでの経緯を踏まえ、会長に石橋委員、副会長に長谷川委員を選出すると してよいか委員に提案。 委員各位より異議なしの声あり。 会長に石橋委員、副会長に長谷川委員を選出することに決定した。 3. 議題（議事進行は条例第 6 条により会長が行う） （１）さとバス及びデマンド交通の利用状況等について 資料 1 に基づき事務局より説明 【委員】 デマンド交通を受託している事業者である。 資料 1 の 2 ページに、さとバス及びデマンドの運賃が掲載されているが、今 後もこの運賃を継続していくということによろしいか。 【事務局】 現状としては、来年度も現状の運賃体系を維持していく。 しかしながら、運賃に限らず市の公共交通について全般的に見直しを図って いかなければならないという考えもあることから、その際に、運賃についても 協議させていただくことになるかと思う。 【委員】 さとバスの運行を受託しているが、車両が 2002 年の登録であり、供用を開始		

してから 17 年近く経過している。それともう一つは車両の走行距離数が 70 万キロを超えてきている。富里市のコミュニティバスについては、それほど距離は走らないが、この供用年数や走行距離を鑑みると、通常だと 12 年くらいの供用であると。既に限界を超えているという状況である。

今後もさとバスを続けるのであれば、代替車両を用意するということについて何かお考えはあるか。

現在の車両は三菱の車両であるが、2 ステップバスであり、2002 年当時は現行の車両でも登録ができたが、これからは、ノンステップ又は最低限ワンステップのバスでないと、バリアフリーの関係上、登録ができないことになる。

しかしながら、新たな車両を購入するとなると、非常に高額になってしまう。

【事務局】

さとバスの車両については、さとバスが運行を開始した当初から同じ車両を使っている。委員がお話されたとおり、供用年数、走行距離ともに、非常に長きにわたって使用していることは、認識している。

さとバスとデマンド交通を分けた際に、現行の車両を継続して使うこととしたのは、当初の運行時から現在のさとバスのルートの乗客数が他のルートに比べて多かったことを鑑み、現在に至るまで、供用を続けている状況である。

しかしながら、現行車両の大きさのバスが、現在のルートで必要かということについては、車両の収容人数を含めて、代替車両を導入するということも検討しなければならないとは考えている。

今現在の利用の推移をみると現状と同等のバスが必要かと言われれば、そこまで大きい車両は必要ではないかもしれない。それには、これまでの利用状況の推移や経過をしっかりと鑑みた上で、また、事業者側の意見も伺いながら、判断していこうと考えている。

いつ変えられるのかという点については、現状では申し上げられないので、その点は御理解をいただきたい。

【委員】

繰返しの発言になるが、安全運行を考えたときに、このままでいいのか。

我々は、さとバスには予備車を用意しているが、成田市等では、そのような車両は用意していない。富里市のさとバスだけのために予備車を用意するという状況である。

我々も車両については、適宜点検はしている。

しかし、今後老朽化が進むと、修繕できない箇所も出てくる可能性がある。

さとバスの運行を続けるのであれば、早めの対応をお願いしたい。

【事務局】

重々承知をしているところである。できる限り早く手立てを考えたい。

【委員】

社会福祉協議会の会長であります。

さとバスについては、利用者数がどうなのか。それほど伸びてはいないのではないかと感じる。費用対効果がどうなのか。

デマンドの形態は良いと思うが。

さとバスの廃止について、一概に決めてしまうわけにもいかないが、何か別の方法を考えたほうが良いと感じる。補助金やそういった観点も含めて。

何か他の方法があると思うが、それについて何か考えはあるか。

【事務局】

さとバスについては、従前のさとバスの運行形態の時よりは、利用者数が大きく伸びている。それは酒々井駅線など、新たな試みをした結果だと考えている。

しかしながら、先ほどから話に出ている車両の老朽化や今後高齢化の進展に伴い、現在の公共交通体系のあり方について、費用対効果や様々なことを鑑み、施策として考えたときに、公共交通としてこのまま継続するのか、あるいは高齢者に特化した施策に転換するのか、早急に検討していきたいと考えている。

議題（１）についての討論は以上で終了。

委員より次の発言あり。

【委員】

デマンド交通受託者である。他市の公共交通会議において報告のあった事例で、デマンドを利用する際に、手押し車や大量の私物を抱えて、一人で車両を占領してしまう方がいる。

富里市ではそのような事例はないが、富里市におけるデマンド交通の利用者の要件として、他市であった占領をする行為については明確にされていない。

あくまでタクシーではなく、乗合い交通であることから、今後そのようなことが起きないように、企画課と直接話をして、してはいけない行為について、協議させていただきたいと考える。

【事務局】

富里市では委員の話されたような行為はないと認識しているが、今後そのようなことが起きることは想定されることから、他市の事例を参考にしながら、事業者と相談、協議させていただきたいと考える。

以上で議事終了。

4. その他

【事務局】

①次回の地域公共交通会議の開催について事務局より説明。

	委員からの意見等なし 5. 閉会 以上
--	--